

教職論

| | | |
|-----|------|------|
| 単位数 | 履修方法 | 配当年次 |
| 2 | R | 1年以上 |



科目コード **EC2702** 担当教員 **寺下 明**

※この科目は、高等学校教諭一種免許状（福祉）用の「教職論」です。幼保特例講座の「教職論」（幼稚園教諭免許状取得用）は、『幼保特例講座科目ガイド』をご覧ください。

■科目の内容

平成10年教育職員免許法が改正され、「教職に関する科目」のなかに「教職論」が新設されました。本科目のねらいは、現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を考察し、教職とはどんな仕事か、その基本的な性格や社会的使命などのついでに理解を深めることにあります。

■到達目標

教員の専門性や教職の魅力を学び、教員を目指す上での基本的認識を高めることができるようになる。

■教科書

教職問題研究会編『教職論（第2版）』ミネルヴァ書房，2009年

■在宅学習15のポイント

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|----------------------------------|--|--|
| 1 | 教職の意義と教員の使命・資質 ①教師の歴史と教師論（1章） | 教師の歴史、教職がどのような経過で職業として、社会制度として成立したのかを学ぶ。 | 教員のあり方についての論争、すなわち聖職論、労働者論、専門職論などを経て、今どう考えられているのかについて理解する。 |
| 2 | ②教職の成立と求められる教員の資質の変遷（1章） | 21世紀の教員のあり方や期待される教員資質について学ぶ。 | いつの時代にも求められる教員の資質能力と今後求められる具体的資質能力について考える。 |
| 3 | ③現代社会の教育的諸問題と教職の課題（1章） | 現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を学ぶ。 | 激動する社会、急変する教育界のなかで、教師の使命や役割は、どうあったらいいかを考察する。 |
| 4 | 教員の仕事と役割①教科指導（2章） | 教員の職種と職階を明らかにした上で教員の仕事、教科指導について理解する。 | これからの教科指導として、学習指導要領との関連や学校全体の協力的指導体制づくりについて考察する。 |
| 5 | ②学校経営・学級経営（2章） | 学校経営や学級経営について学ぶ。 | 現在の学校にどのような校務があるのか明らかにするとともに、学級担任としての仕事を理解する。 |

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|-----------------------|---|--|
| 6 | ③保護者・地域・関係機関と教員（2章） | 学校と保護者・地域と関係機関との関係について考える。 | 学校と保護者や地域との、より具体的な相互関係や協力体制について考えてみる。 |
| 7 | 教員の研修と服務規程①教員の研修（3章） | 教員の研修について、法的な視点から考える。 | 教員研修の実施体系とその法的規定を中心に学ぶ。 |
| 8 | ②教員の服務規程（3章） | 学校教育法に基づき教員の服務規程とその職務内容を理解する。 | 教育公務員としての教員が、職務を遂行する上で服さなければならないさまざまな服務規程について考察する。 |
| 9 | ③学習指導要領と教員（3章） | 教員による教育活動の法的な内容基準を示している学習指導要領の性格について学習する。 | 学習指導要領の変遷と教科書および日の丸・君が代の問題についての議論を考える。 |
| 10 | 初等・中等教育と教員①幼稚園の教員（4章） | 幼稚園教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。 | 幼稚園教育の基本と特性を把握し、望ましい幼稚園教員について考える。 |
| 11 | ②小学校の教員（4章） | 小学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。 | 小学校教育の基本と特性を把握し、望ましい小学校教員について考える。 |
| 12 | ③中学校の教員（4章） | 中学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。 | 中学校教育の基本と特性を把握し、望ましい中学校教員について考える。 |
| 13 | ④高等学校の教員（4章） | 高等学校教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。 | 高等学校教育の基本と特性を把握し、望ましい高等学校教員について考える。 |
| 14 | ⑤特別支援学校の教員（4章） | 特別支援教員としてどのようなあり方が望ましいかについて考察する。 | 特別支援教育の基本と特性を把握し、望ましい特別支援学校教員について考える。 |
| 15 | 教員養成と教職課程（5章） | 教職課程の意義と履修方法、および適性について考える。 | 教職課程の履修を通して、教職に課せられた責任と使命を自覚し、教職に対する自己の適性について吟味することが必要である。 |

■レポート課題

| | |
|-------|-----------------|
| 1 単位め | 教職の意義と教員の使命について |
| 2 単位め | 教員の仕事と役割について |

■アドバイス

各課題について、テキストや参考文献を「丸写し」するのではなく、自分の言葉で理解した内容をまとめるように心がけてください。

1単位め
アドバイス

教職とはいかなる仕事か、専門性の高い基本的な性格を理解し、激動する社会の中で、教師の使命や役割について、その求められる資質をふまえてまとめましょう。

2単位め
アドバイス

学校では、さまざまな教職員が校務を分担しています。まず、教員の職務内容を把握してください。そして、今日多発する「いじめ」「不登校」「学級崩壊」に対して、教員としてどのように取り組むのかを考えることによって、職業人としての教員についての理解を深めましょう。

■科目修了試験 評価基準

①問題の意図を正しく理解し、問題にそって論理的に解答がなされている、②自分なりの視点をもって問題に取り組んでいる、③専門用語の意味などについて正確に理解している、などを基準に評価する。

■参考図書

佐伯胖・黒崎勲編『教師像の再構築』（岩波講座6 現代の教育）岩波書店、1998年